



営農タイムリー!

発生予察情報について(10月)



2022年9月29日発行

今後注意すべきその他の病害虫等

野菜

1. 軟腐病 (キャベツ、ハクサイ、カブなど)

ほ場の排水に努め、雨水が停滞しないようにする。施肥は、窒素過多にならないよう注意する。台風等の風雨による傷や泥のはね上げにより発病が助長される。また、キスジノミハムシ、コオロギ等食葉性害虫の食害痕から細菌が侵入して発病することが多いので、強い降雨の後や害虫の被害が目立つ場合は、早期防除に努める。



発病株 (初期)



発病株 (進展中)



発病株 (特有の悪臭を放つ)

■ キャベツ 軟腐病 の防除剤

予防散布に重点をおき…
銅剤、スターナ、バリダシン等を散布

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	成分別 総使用回数
24(D3) M01(M)	カスミンゴールド [カッパーシン水和剤] (カスミン+銅)	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	4回以内:-
31(A4)	スターナ 水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内
31(A4) 24(D3)	カセット 水和剤 (スターナ+カスミン)	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内:4回 以内
U18(U)	バリダシン 濃5	800倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内
M01(M)	オキシンドー 80 水和剤	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
	野菜類				
	ICフィル 66D	100倍	-	-	-
	Zホルター	500倍	-	-	-
	コサイド3000	2000倍	-	-	-

2. ネギ べと病

9月下旬以降、平均気温が15～20℃で降雨が多くなると、ほ場にすき込まれた罹病残さ等に潜伏している病原菌の活動が再び活発となるので、本病の発生には十分注意する。



■ ネギ べと病 の防除体系 例

発病前は



発病が認められたら

M05(M)

ダコニール1000

[1000倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

予防剤を ローテーション散布

I:UN,
M03(M)

ペンコゼゴ 水和剤 [600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

ペンコゼゴ フロアブル [500～600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

シマンタイセン 水和剤 [600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

U17(U) **ピシロック** フロアブル

[1000倍 収穫前日まで/ 3回以内]

11(C3)

アミスター²⁰ フロアブル [2000倍 収穫3日前まで/ 4回以内]

メジャー フロアブル [2000倍 収穫前日まで/ 3回以内]

3(G1)
I:UN,
M03(M)

テーク 水和剤
[サンリット+マンゼブ]

[600倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

治療剤を加えた ローテーション散布

40(H5) **レーバス**

[2000倍 フロアブル
収穫7日前まで/ 2回以内]

4(A1)
M05(M)

フォリオゴールド

[800～1000倍 [リトミル+ダコニール]
収穫14日前まで/ 3回以内]

40(H5)
M05(M)

カーニバル

[フェスティバル+ダコニール]
[1000倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

40(H5)
M05(M)

プロポーズ

[マロット+ダコニール]
[1000倍 収穫14日前まで/ 3回以内]

3. トマト黄化葉巻病 及び トマト黄化病

トマト黄化葉巻病は、黄化葉巻ウイルス(TYLCV: Tomato Yellow Leaf Curl Virus)の感染により引き起こされる病気で、症状は、先端部の葉が内側に巻く、葉縁が黄化、株の萎縮等で、タバココナジラミによって媒介される。

トマト黄化病はトマト退緑ウイルス(ToCV: Tomato chlorosis virus)の感染により引き起こされる病気で、症状は葉の一部の葉脈間が退緑及び黄化し、生理障害の苦土(マグネシウム)欠乏の症状に類似し、タバココナジラミ及びオンシツコナジラミによって媒介される。



◇ マグネシウム欠乏症



マグネシウムは作物体内での移行が比較的速やかなため、欠乏症は中～下位葉、特に果実近くの葉に多く発生する。症状が軽い場合には、葉脈間がやや黄変する。症状が進むと葉脈部と葉縁部を残して葉脈間が黄化する。さらに激しくなると、障害部は壊死して葉全体が枯れ込むようになる。



葉先より葉脈間の黄化が進んだ症状

4. タバココナジラミ

タバココナジラミは世界中に分布し、多くのバイオタイプ(形態的な区別が難しく、遺伝的、生物学的に異なる系統)が存在する。本州では在来系統(バイオタイプJpL等)、バイオタイプB、バイオタイプQが確認されている。

バイオタイプQは薬剤感受性が低く難防除害虫であるので、以下の3点を防除対策の基本事項として、防虫ネットや黄色粘着板及び農薬等を組み合わせた「総合的害虫管理」が有効となる。

・施設内にコナジラミを「**入れない**」。

- (1) 開口部の防虫ネット被覆。
- (2) 黄色粘着ロールの展張。
- (3) 近紫外線カットフィルムの使用。

・施設内・施設周辺のコナジラミを「**増やさない**」。

- (1) 発生初期の防除の徹底。
- (2) 薬剤のローテーション防除の実施。
- (3) 天敵や微生物農薬の有効利用。

・施設内からコナジラミを施設外に「**出さない**」。

- (1) 開口部の防虫ネット被覆。

タバココナジラミ幼虫



タバココナジラミ成虫

■ トマト コナジラミ類の防除体系例

